

事務事業名	6889 非核・平和事業													
担当組織	政策秘書室					政策秘書室					担当	秘書担当		
組織コード	R2	03	02	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	02	01	01	02	01	記入日	令和元年 5月24日
	R1	03	02	00		R1	01	02	01	01	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	03	安心して安全に暮らせるまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	06	平和と人権											
施策	36	平和意識の向上											
事業期間	昭和61年度～令和2年度												
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針		
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民全般。												
事業目的	平和の尊さを、子どもをはじめとする市民に再認識していただき、平和意識の高揚に努める。												
事業内容	平和関連事業の開催（戦時中の食事体験、平和に関する映画上映会及び講演会、パネル展示） 平和意識啓発チラシ 広報による平和特集 平和横断幕の庁舎への掲揚												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	戦時中の生活体験事業、大人向け平和事業の実施、横					
	事業費	0	401	404	404	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	401	404	404	0
	人件費	0	0	818.76	818.76	0	
	投入 人員	常勤職員	0人	0人	0.12人	0.12人	0人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		0	401	1,223	1,223	0	

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	事業への参加者数		人	参加者数(人)	60	60
活動②					68		-
成果①	事業参加者のうち平和への意識が変化した人の割合		%	意識が変わったと答えた人数÷参加者数(%)	55	60	
成果②					78		-

目標達成状況の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 事業参加者数及び平和への意識が変化した人の割合ともに目標を達成することができた。親子向けは「すいとんづくり」、大人向けは「映画上映会」として、それぞれ参加しやすい内容でありながら、平和の大切さを十分に伝えることができている結果と考えている。						
-----------	---	--	--	--	--	--	--

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	B	B	－	<判断理由>

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	平和に関する映画上映会を実施した際、新たに映画に関連した講話を併せて実施し、参加者がより理解を深められる工夫をした。
見直しの効果	参加者のアンケートで、多くの市民から「平和意識が変化した、このような事業を引き続き実施してほしい」との感想をいただいた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 市民の平和意識の高揚を図るという事業趣旨は今後も大変重要であることから、事業構成等企画の検討を行いながら継続する。
今後の取組方針	今後も幅広い市民を対象に実施していく。親子を対象とする事業については、「親子で体験！戦時中の生活」を実施し、好評であったことから、令和元年度以降も引き続き実施していく。大人向け事業については、参加者アンケートで好評だった映画上映会を引き続き実施し、開催日程や周知方法を工夫した上で多くの市民の参加を図っていく。また、戦時中の市内の様子などのパネル展示を行い、視覚的にも市民に訴えていく。